厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
分担研究報告書

がんに関する臨床情報のネットワークの確立

研究分担者　的場元弘　国立がんセンター中央病院　緩和医療科　医長

研究要旨
本研究では、小児がん患者と家族のための病気に関する情報の提供体制の整備のための、適切な媒体やコンテンツの在り方についての検討を行う。今年度は、本研究班において実施している研究テーマに沿って、年度以降に予定されている、インターネットなどを通じた情報提供を念頭に情報の整理を行った。今年度に情報提供の内容として検討されたものは、①小児がん医療の治療と質の均てん化のための専門的医療機関のリスト、②がん患者の子供たちのケア、③小児がん患者の復学および入院中の院内学級等の情報、④小児がん経験者の社会復帰、⑤小児がん経験者に関する保健制度、⑥過去の相談内容についてのデータベース化、⑦小児がんについての市民向け講演会情報、などが必要と考えられた。小児がんの情報としては、成人がんと大きく異なり、各疾患の治療に関する情報のほか、その後の復学や、成人となった音についても長期にわたる情報の提供や支援がコンテンツとして必要であることが明かであった。

A．研究目的
小児がん患者と家族のための病気に関する情報の提供体制の整備にあたっての情報収集や情報提供のための媒体の健康、提供すべき情報の項目の検討を行う。

B．研究方法
今年度は、本研究班において実施している研究テーマごとに一般向に情報を提供する場合の項目と内容の検討を行い、次年度以降に予定されている、インターネットなどを通じた情報提供を念頭に情報の整理を行った。

（倫理面への配慮）
今年度の研究では個人情報に関する情報の取扱いはなかった。提供の検討を行っている内容については情報提供を行う際に、当該医療機関における倫理審査委員会の承認を得ることとした。

C．研究結果
小児がんに関する情報提供については各種のがんについての情報が必須であるが、小児がんについて幅広い情報提供を扱っているのは、国立がんセンターがん開削情報センターの「がん情報サービス」および、がんの子供を守る会など、極めて少ないことなどが明らかとなった。今後の小児がんに関する情報提供のコンテンツとして下記の項目の検討を行った。

1) 小児がん専門診療連携拠点病院
小児がん医療の治療と質の均てん化のための専門的医療機関のリスト。このリストには、病院名や所在地、ベッド数などの基本情報のほか、取り扱いがん種と年間症例数、および特記すべき専門的治療、専門医数などを含む。
2) がん患者の子供たちのケア
乳がん患者を対象にその子供を対象に、親のがんが小児に与える影響と、子供へのケアについて。
3) 小児がん患者の復学および入院中の院内学級等の情報。
4) 小児がん経験者の社会復帰
社会性を獲得する時期に、入院生活や治療が及ぼす影響と、その後の社会復帰についての情報。
5) 小児がん経験者に関する保健制度
6) 過去の相談内容についてのデータベース化とその活用
7) 小児がんについての市民向け講演会情報

D．考察
小児がんの情報としては、成人がんと大きく異なり、各疾患の治療に関する情報のほ

か、その後の復学や、成人となった音についても長期にわたる情報の提供や支援がコンテンツとして必要なことが明らかになった。
一方、現段階において小児がんに関する情報が少なく、また患者数も少ないことから、社会全般での小児がんに対する理解も希薄であり、患児や両親などに向けた情報のほかに、社会復帰を受け止める側の理解を進めるための情報提供も必要である。
また、個々の情報は、提供される側の幅に沿って提供されるべきものであり、2006, International Journal of Consumer Studies を参考に、情報提供のレベルを①個人レベル、②ローカルレベル、③コミュニティーレベル、④社会・文化レベルに分けて検討していく必要があると考えたれた。

Ｅ．結論
次年度は、研究班内での制具体的成果に基づいて、情報として見せるためのコンテンツの作成を行う。

Ｆ．研究発表
１．論文発表
Kokubun H, Matoba M, et al.:Evaluation of the 2.5mg Fentanyl Patch, Applied Using the Half-side Application Procedure in Procedure in Patients with Cancer Pain:YAKUGAKU ZASSHI 128(3)447-450 2008

ガレス・リー，的場元弘，橋本貴夫．がん-お医者に行く前にまず読む本-．一灯舎．2008

的場元弘，他．3 薬物療法 2：応用：胸水，腹水．臨床権和医療薬学　真興交易　62-67　2008

国分秀也，的場元弘，岡崎美代子．外須美夫、矢後和夫．がん疼痛患者におけるフェンタニルパッチ 2.5ｍｇ製剤半面貼付の検討．YAKUGAKU ZASSI．128(3) 447-450　2008

工藤翔二，土屋了介，金沢実，大田賢，的場元弘．呼吸器　Annual Review 2008. Ⅳ治療の進歩、医療用麻薬の新しい管理法．中外医学社．248-253　2008

２．学会発表
的場元弘　神経障害性疼痛と鎮痛補助薬：闇夜の手探りから黎明へ　日本緩和医療学会総会　静岡　2008.7.4

的場元弘　緩和医療におけるメチルフェニデートの有用性　日本臨床精神神経薬理学会・日本精神神経薬理学会合同年会　東京　2008.10.2

（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）

Ｇ．知的財産権の出願・登録状況
なし
１．特許取得
なし
２．実用新案登録
なし
３．その他
なし